

核兵器禁止条約に日本政府の参加を！

「原水爆禁止国民平和行進」の熊本市訪問に参加

7月14日に、「原水爆禁止国民平和行進」の熊本市訪問が行われ、日本共産党市議団も一緒に参加しました。

市議会では議長が対応、執行部は政策局長が対応しました。要請事項を伝え、それぞれに懇談しました。



「原水爆禁止国民平和行進」とは？

原水爆禁止国民平和行進は、1958年に始まり、毎年すべての都道府県から、「核兵器禁止」を訴えながら被爆地広島・長崎をめざし、行進されています。



今年1月「核兵器禁止条約」が発効、2021年は人類史上はじめて核兵器が違法化された歴史的な年の平和行進です。世界で唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約への日本政府の速やかな署名・批准が求められます。

自治体訪問では、(1)「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」への協力、(2)議会での「核兵器禁止条約への署名・批准を日本政府に求める意見書」の採択、(3)世界大会成功へ行進の激励や募金・ペナント購入、(4)原爆写真展開催、などが要請されました。

政策局長は、「核兵器廃絶の趣旨には賛同する」と述べた上で、夏に開催している「平和パネル展」、学校現場での平和教育の取り組みが紹介されました。「核兵器禁止」署名は、組合を通して職員へ呼びかけられています。

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか

NO. 1243
2021年7月25日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP：共産党 熊本市議団



検索



熊本市主催の 「平和啓発パネル展」

毎年、熊本市が開催している「平和啓発パネル展」が、今年も下記のとおり開催されます。

ぜひ、お立ち寄りください。

期間：8月2日(月)～13日(金)

場所：市役所本庁舎1階ロビー

*時間は、8：30～17：15
(最終日は、15：00まで)

戦争の悲惨さや平和の大切さを再認識する企画として、熊本大空襲の写真・資料、広島・長崎の原爆投下写真等が展示されます。

…「疑問」に答えて… 「指定管理者制度」とは？

2003年の地方自治法一部改正により、「管理委託」に替わり導入された制度で、地方公共団体の出資法人・公共団体等が行ってきた「公の施設」の管理運営を、地方公共団体の指定を受けた事業者が「指定管理者」として管理を代行するものです。指定管理者には、民間も含め、広く門戸を広げられているため、民間企業参入が広がっています。公共施設が民間の儲けの道具となることや、職員の処遇など、様々な問題点があります。

【控室から】 文化芸術への公的支援の拡充を

上野 みえこ



今月、子ども劇場の50周年企画として、フランスの作家モーリス・ドリュオンの「みどりのゆび」を原作にした大型人形劇が県立劇場で上演されました。昨年、50周年プレ企画として予定されていたのが、新型コロナウイルスの影響で1年延期となったものです。さまざまに趣向を凝らした大がかりな人形劇に、子どもたちは舞台に見入っていました。この作品は、劇団創立50周年を記念して創られた作品の再演でもあり、50周年にふさわしい企画であったと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大からおよそ1年半、長期にわたる影響で、私たちの日常生活も大きく変わりました。各種事業者はもちろん、文化芸術に関わる方々の活動継続には、多くの困難があると思います。それでも、上演する人、企画する人、観る人、それぞれの協力で、様々な文化活動が展開されていることを大変うれしく思います。コロナ禍の今だからこそ、より一層、心豊かになれる文化芸術の果たす役割が大きいと思います。文化に対する公的支援の少ない日本、国も自治体も文化予算を増やして、文化芸術の発展を公でしっかり支えてほしいと思います。そのためにも、私も頑張っていきたいと思っています。



2020 年度の政務活動費収支報告

日本共産党熊本市議会だより 2021 年 7 月 25 日号 (No.1243)

熊本市議会では、議員一人あたり年間 240 万円 (月 20 万円) の政務活動費が支給されています。2020 年度は、新型コロナの感染拡大により、他都市・専門分野の調査活動や国への陳情などができませんでした。しかし、新型コロナアンケート・青年アンケートに取り組み、新型コロナ禍、市民の声を聴き取り、議会活動に生かすとともに、市議会だよりを毎週発行し、市政の内容を広く市民に広報することに努めてきました。今後も引き続き、住民に寄り添った、開かれた議会活動となるよう取り組んでいきます。

2020 年度は 2 人で年間 480 万円の政務調査費を使い、右記の収支報告のとおり活動しました。その内容・収支について報告します。

なお、収支報告書および領収書・添付書類は、共産党市議団控室や議会図書館で閲覧することができます。

上野みえこ なすまどか

【主な内容】

<広報費>

(1) 手づくりの市議会だよりを週 1 回 (年間 48 回) 発行。

カラー版「号外」を年 1 回発行、市内全域に配布。

(2) 日本共産党熊本市議団 HP は随時更新して、新しい情報を提供しています。議会での発言も詳しく紹介しています。ぜひ、ご覧ください。「共産党熊本市議団」で検索できます。

(3) 市政報告懇談会を 1 回実施 (於・市民会館)。

<広聴費>

・ 5～6 月に「新型コロナアンケート」、2021 年 3 月に「青年アンケート」を実施。



2020 年度 政務活動費収支報告書

会派名 日本共産党熊本市議団

1 収入

政務活動費 4,800,000 円

2 支出

(単位:円)

科目	金額	備考
調査研究費	48,050	中心市街地・桜町周辺開発調査
研修費	0	新型コロナのため、なし
資料作成費	17,890	資料作成用紙代ほか
資料購入費	206,721	新聞・書籍購入他
広報費	1,708,515	市議会だより印刷経費・ホームページ及びサーバー保守管理、市政報告会(1回)
広聴費	590,652	新型コロナアンケート、若者アンケート
会議費	0	
人件費	1,580,000	市議団事務局人件費・交通費
事務所費	323,909	事務所機器リース料、メンテナンス料 文房具代 など
事務通信費	73,290	FAX・インターネット 回線利用料
要請・陳情活動費	0	新型コロナのため、なし
合計	4,549,027	

3 残額 250,973 円